

倫理

第4問 問2 「26」

センの潜在能力の視点を踏まえた政策を考える問題で、各学力層で差がついた

問2 下線部①に関連して、センが提唱した潜在能力の視点を踏まえた具体的な政策についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

26

- ① 公共事業によって建設労働の雇用を増やすことで、人々が自ら労働しようとする力を高める。
- ② 健康や衣食住を確保し、また教育の機会均等を拡大することで、人々が職業や生き方を自ら選び取る力を高める。
- ③ 能力や努力の違いによって生じる所得格差の正当性を認めることで、人々が自らの能力を伸ばし、努力しようとする意欲を高める。
- ④ 人々の環境や境遇は異なっても、人々の所得を均等にすることを目的として人々の競争意識を緩和し、助け合いや協力の精神を高める。

第4問 問2 「26」

正解率	38.8%
SS70～75	76.3%
SS65～70	64.1%
SS60～65	54.0%
SS55～60	46.0%
SS50～55	41.5%

2022年度第1回ベネッセ・駿台
大学入学共通テスト模試
「倫理」

受験者数: 13,239人
平均点: 47.8点
標準偏差: 13.8

結果分析

センの「潜在能力」の視点を踏まえた具体的な政策を考える問題で、各学力層で差がつかまりました。

センの「潜在能力」についての知識を正しく理解できているか、また、その考え方を日常の具体的な政策に落とし込んで考察できたかが問われたため、各学力層で差がついたと考えられます。

指導のご提案

センの思想内容を整理して自分のなかに落とし込めており、かつそれを具体的事例に置き換えて考察できたかが今回の問題の重要なポイントです。まず、思想家や思想内容については、重要語句を単に覚えるだけでなく、抽象的な概念を具体的に自分の言葉で正確に説明できるようにしておきたいです。

さらに、共通テストでは、多彩な資料から読解力や多面的・論理的に考察する力などが求められます。これからの2か月においては、共通テスト形式の問題演習を通して読解力を養うとともに、今まで学習した知識を活用して多面的・論理的に考察する姿勢を確立することができれば、本番までの学習の効果を高めることができるでしょう。

実践形式の類題演習のご提案ページへ